



# じゃがいものおうち通信

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

2001年5月12日

NO. 27

発行責任者 楯 篤雄  
TEL/FAX

〒891-4404 屋久町尾之間 6 5 8 - 1  
09974-7-3032 mokkuri@d1.dion.ne.jp  
http://www.d1.dion.ne.jp/mokkuri

「じゃがいものおうち」  
TEL

〒891-4404 屋久町尾之間 1 3 6 - 6  
09974-7-3588



## 大切なもの



連休に入り少し遅い木の芽流しがやってきました。柔らかな新緑が遠くから見ると黄金色に輝くそんな季節が好きです。

先日の産業祭ご協力たいへんありがとうございました。このところ様々な行事が毎週末のようにありますが、休みたいところを鞭打って出てきてくださる皆様の御理解に深く感謝致します。

拠点竣工以来、8ヶ月が過ぎようとしております。相変わらずの暗中模索状態は続行中ですが、前号でも触れましたように法人格取得という今の私達にとって大きな目標を持ちながら又、目の前にある様々な課題にひとつひとつ取り組んで活動をしてゆく、ということが少しハッキリしてきたように思います。具体的な目標が見えてくれば日々の活動にも力が湧いてきます。大切なのは心をひとつにすることだと思います。千差万別様々な個性の人々がいるんだから、容易にはいきません。人それぞれの輝く部分を発見し、持ち合えず未熟な部分は緩やかな成長を待つ、そんな大きな心でもって対処していきたいと思う次第です。

先日は超多忙な中、来島して頂きました麦の芽福祉会の中村さんと語らう場を持つことが出来ました。大切な理念は「まなざし」と言われた言葉が忘れられませんでした。ありがとうございました。

～ 代表のひとりごと～ 「ああ～豆腐屋がしたい！」

(楯)

## 麦の芽福祉会の中村さんを迎えて

“じゃがいものおうち”は小規模福祉法人をめざしてはどうかとの提案もあり4月13日、尾之間診療所と“じゃがいものおうち”で麦の芽福祉会の中村さんにきていただき勉強会をしました。

彼はあちこちの作業所を見学し、主人公たる障害者が輝いていないことに落胆して、1981年に夜間作業所を立ち上げ現在22事業所にまでされた方です。その過程で一番大事にしていることは『理念』だと言うことでした。理念や概念、思想というとながしいが『まなざし』と言えばわかりやすい、理論や技術はまねできるが『まなざし』だけはまねができない。その人、その組織固有の歴史的に熟成された価値意識だといいます。

障害者福祉を考えると、根本は『基本的人権』だとの思いを再確認した勉強会でした。障害の有無に関わらず誰もが『健康で文化的な生活を……』と言う当たり前の社会になるように“じゃがいものおうち”も一翼を担えるようになりたいものです。

(“じゃがいものおうち”にそのとき持ってきていただいた資料があります。是非皆さんも一度は目を通していただきたいと思います。そして話し合い、“じゃがいものおうち”の理念を育てていきたいものです。)

(松田)



## 手をつなく育成会との交流会があります。



5月27日(日)PM 1:30より 場所 未定  
知的障害者の教育と福祉を増進することを目的にした親の会に「手をつなく育成会」があります。屋久町にも25名の会員さんがおられ、在宅の方が現在12名も頑張っておられます。じゃがいものおうちも、同じ思いの方々とつながりを持ちたいと、交流会を計画いたしました。人口の少ない地域性としては障害の種を越えて力を合わせることで、これからの福祉の要となるように思います。

ふだん言うに言えない「想い、悩み、泣き、笑い」を語り合ひましょう。



(楯)

## 屋久町社会福祉協議会の評議員に選任される

こまどり館をはじめホムヘルプサ・ピス訪問入浴等々の事業を行われている屋久町社会福祉協議会のボランティア団体の代表の一人として、じゃがいものおうちが評議員として選任されました。社協の評議員会は、定款や予算決算、基本財産、事業計画等を理事会が議決したあとの議決機関であります。

大変な役を受け全く勉強不足ではありますがこの島で福祉を考えていく上で、社協との連携は必要不可欠のじゃがいものおうちです。共に考え歩んでゆきたいと思ひます。

(楯)

## じゃがいもの販売 ご協力ありがとうございました

東京のジャックに1900kg  
出荷し、島内、島外に500kg  
個人販売しました。大変好評で  
「おいしい」と言って買って  
頂きました。

ありがとうございました。  
(陽子)

## 神山小に「じゃがいものおうち」からの人材派遣をお願いします。



2001年度からの計画で今月から始まりそうです。1年生～6年生までの全校体制で1ヶ月に1回の割合で交流していきたいと希望しています。その内容は、来てくださる人材と、子どもたちとで、じっくり話し合いながら計画を立てていくと思ひます。人材は現在3名決定しています。(若松)